

岐阜県職員（建築職）を 志望される皆様へ

[建築職の仕事紹介2019]

どんな仕事をするの？
一緒に働くのはどんな人？

あなたの“知りたいこと”を
紹介します！



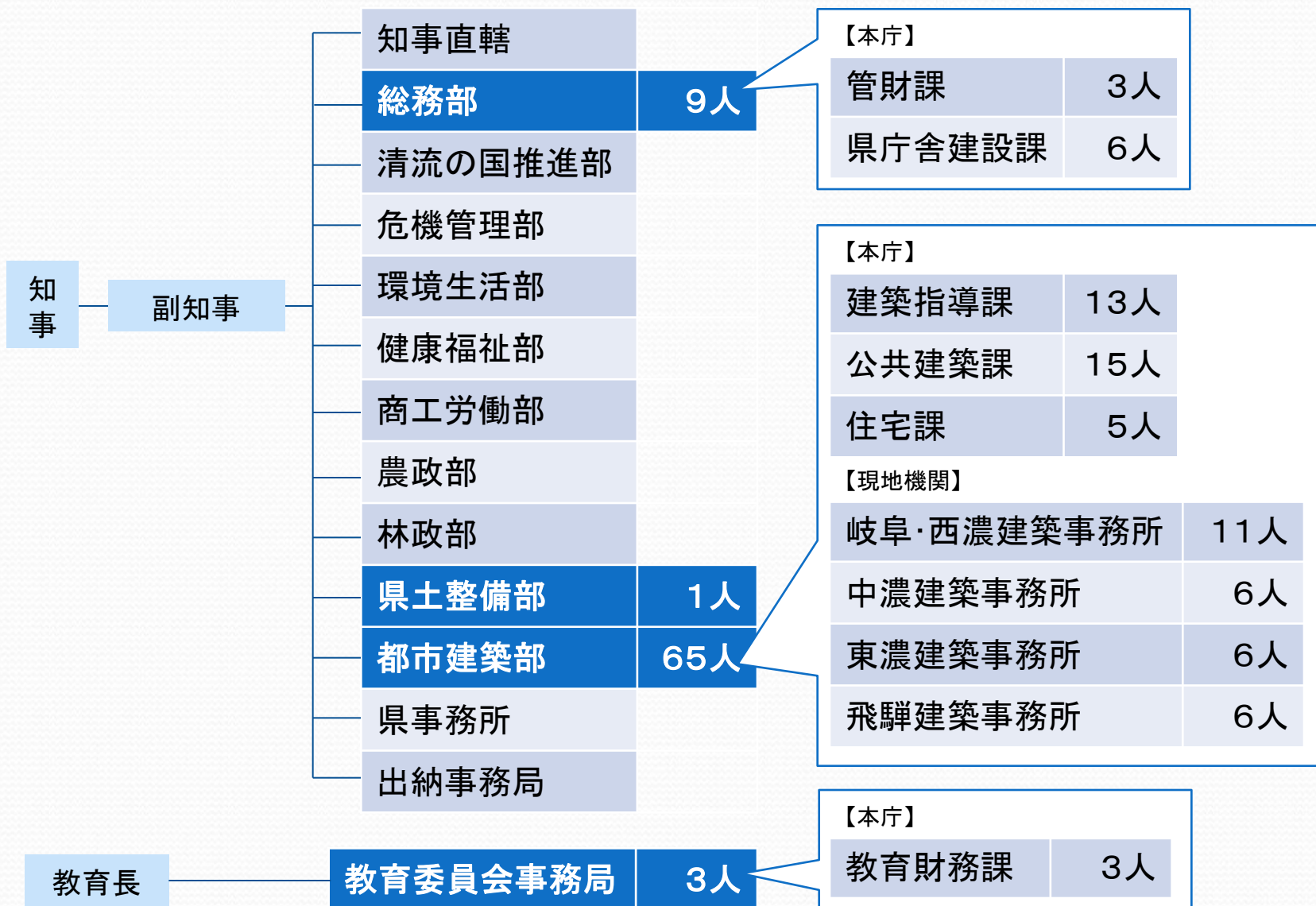
岐阜県都市建築部

【問い合わせ先】
建築指導課

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
電話 058-272-1111 内線3781
FAX 058-278-2782
メール c11655@pref.gifu.lg.jp

県の組織と建築職の主な配属先

(平成31年4月1日現在)



建築職の主な業務内容

建築職は、安全な建物・住みよいまちづくりのための建築・宅地開発規制、県有建物の企画・設計・工事監理、住まいに関する企画や公営住宅の建設指導等の業務に携わります。

主な配属先		主な業務
本庁	建築指導課	・ 建築物の指導、規制 ・ 建築物の防災対策 耐震化の促進 ・ 建築・宅地開発の指導、規制 など
	公共建築課	・ 県有建物の企画・設計及び工事監理 ・ 県有建物の改修工事や安全点検 など
	住宅課	・ 住まいに関する企画 ・ 住生活の安定確保及び向上促進 ・ 公営住宅の建設指導、県営住宅の運営 など
現地機関	建築事務所 (岐阜・西濃、中濃、東濃、飛騨)	・ 建築確認申請の審査 ・ 開発許可申請の審査 など

※その他の配属先：都市政策課、県庁舎建設課、管財課、教育委員会教育財務課 など

建築職の職員の状況

(平成31年4月1日現在)

建築職総数 81人 (男性66人 (81.5%)、女性15人 (18.5%))

- うち民間企業等職務経験者 11人 (うち女性2人)
- うち建築士 57人 (うち一級48人、二級9人) ※一級建築士資格取得支援制度あり

[年齢構成別]

年代	人数	うち女性
20代以下	22人	7人
30代	15人	6人
40代	24人	2人
50代	20人	0人

[補職別]

補職等	人数	うち女性
技師	21人	7人
主任技師	15人	6人
技術主査	15人	1人
課長補佐相当職	14人	1人
課長相当職以上	16人	0人

[配属先別]

配属先	人数	うち女性
建築指導課	13人	5人
公共建築課	15人	2人
住宅課	5人	2人
建築事務所	29人	2人
その他	16人	1人
(参考) 育児休業中	3人	3人

※通常、2～3年を目途に人事異動があります！

【参考】

岐阜県職員全体 約24,200人

(知事部局 約4,100人、教育委員会 約16,200人、
公安委員会 約3,900人)

仕事の様子



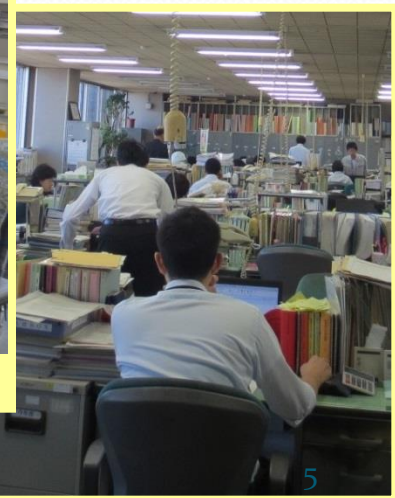
被災地への
建築物応急危険度判定士派遣



県施設の新築工事



打ち合わせ



岐阜県職員（建築職）として働く魅力とは？

◆ 建築職の課長からのメッセージ

● ふるさと岐阜県づくりに直接貢献できる！

私たちは、市町村をまたいだ広域的な業務に携わり、約200万人の岐阜県民の皆さんのために働いています。

生活に欠かせない建築物や開発行為の規制・指導、防災対策などを進めることにより、県民生活の安全・安心を守っている他、県の庁舎や、多くの県民が利用する学校や文化施設等の建設・修繕の仕事を通じ、ふるさと岐阜県づくりに直接貢献できることが私たちの喜びです。

県庁には建築職以外の様々な職種の職員がいて、多様な価値観と能力を持った職員が協力して事業を進めていくところにやりがいを感じることができると思います。

● 子育てしやすい職場です！

同僚の協力体制があり、産休・育休などの制度を利用しやすい職場です。育児休業取得後は、もちろん現職に復帰できます。

また、育児のための早出・遅出勤務等の制度を利用して、子どもを保育園に送ってから出勤している職員も、男女ともに多いです。

● 自分の生活を大切にできる職場です！

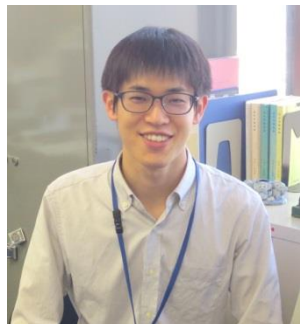
休暇が取りやすいので(もちろん仕事の調整は必要ですが)、趣味や旅行などで気分転換し、新たな気持ちで仕事に向かうことができます。持病を抱えながら、治療と仕事をうまく両立している職員もいます。

また、私たちの世代になると親の介護の問題がありますので、親の近くで生活できて、介護休暇が取得しやすい職場環境は助かります。



都市建築部建築指導課
川嶋 雅弘 課長

先輩職員紹介



中垣内 翔也 技師

県庁舎建設課

- ・平成28年4月 入庁 飛騨濃建築事務所
- ・平成31年4月 県庁舎建設課(現所属)

■現在の仕事は？

県庁舎の再整備のうち議会棟及び付属建物の建築工事にかかる設計・工事監理を担当しています。

初めて経験することばかりですが、一人でやるわけではなく、他の職種(行政、土木、機械など)の人も含め、みんなが仲間みたいな感じで協力して進めているので、あまり不安はありません。付属建物は規模は小さいのですが、自分は初心者なので、設計から工事までの全体の流れを経験できるのはありがたいです。

■一級建築士の勉強はどのようにしていましたか？

県の支援制度を利用して専門学校に通い、昨年、一級建築士の資格を取得しました。勤務地の高山から学校まではかなり遠く、特に冬は大変でしたが頑張りました。

「受験は仕事が落ち着いてから」と考える人がいるかもしれませんが、年数が経つと仕事の責任も重くなるので、若いうちに勉強を始める方が良いと思います。



山田 真希子 技師

岐阜・西濃建築事務所

- ・平成27年11月 入庁 公共建築住宅課
- ・平成28年4月 公共建築課(組織改正)
- ・平成30年4月 岐阜・西濃建築事務所(現所属)

■現在の仕事は？

都市計画法に基づく開発許可と建築物の確認申請の審査を担当しています。

これらは、建築事務所の全員が担当している事務です。人によって担当地域が違い、地域によって法の適用が異なるので、地域をよく知る必要があります。

■仕事で苦労したことはありますか？

法規がわかっていないとできない業務なのに、配属当初は、条文が難しくて読むのが苦痛でした。でも今では読めるようになりましたし、どこに何が書いてあるのかもわかります。単に読むだけではなかなか覚えられませんが、事業者や市町からの具体的な相談に対応するために、目的を持って調べているので身に着いたと思います。

現在、一級建築士を目指して勉強中ですが、普段の仕事がそのまま勉強にもなっています。帰宅後の勉強時間も確保できているので、今年はぜひ合格したいです。

先輩職員紹介



栗田 浩佑 技師

教育財務課

- ・平成29年11月 入庁
東濃建築事務所
- ・平成31年4月 教育財務課(現所属)

■現在の仕事は？

県立高校等の施設整備を担当しています。

具体的には、建築基準法第12条に基づく校舎等の点検やその結果に基づく改修計画、校舎や体育館などの改修や新築についての学校への助言などが仕事です。

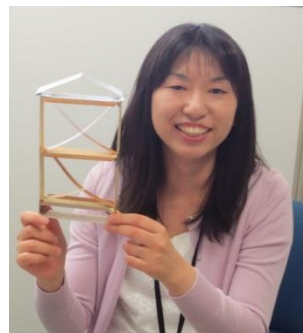
例えば、今年は、夏前に県立高校の全部の普通教室に空調設備を設置できるように工事を進めています。

また、トイレの洋式化やバリアフリー化のための手すりの設置など、各学校の要望に基づいて、工事の規模や予算の検討、法的・技術的なアドバイスをしています。

■仕事をしていて、今思うことは何ですか？

県立学校は約80校もあり、それぞれ要望が違うので大変ですが、生徒の皆さんに喜んでもらえる仕事だと思います。人の役に立っているなど実感できています。

経験のないことばかりで、まだまだ勉強中ですが、先輩が丁寧に教えてくれるので、たくさん学びたいと思います。



小野 有香 主任技師

建築指導課

- ・平成25年11月 入庁
岐阜・西濃建築事務所
- ・平成28年4月 公共建築課
- ・平成30年11月 建築指導課(現所属)

■現在の仕事は？

住宅等の耐震化を進めるためのPRと補助金交付、被災建築物応急危険度判定制度を担当しています。

大地震の直後は関心が高いのですが、記憶が薄れてくると住宅等の耐震化は進まなくなります。

そこで、今年は広報に力を入れています。媒体を増やすとともに、「地震発生時に住宅がどうなるか」を子どもでもわかりやすくイメージできるように、模型「紙ぶるる」(写真で手に持っているもの)を使った講習も計画中です。

■仕事を進める上で、大変なことは何ですか？

建築物耐震化は、補助金の他に自己負担も必要なので、なかなか進みません。所有者に働きかけて「やる気」になっていただく必要があります。私が頑張るだけでは進まないのも、もどかしい気持ちがあります。

でも、いざというときに備えて少しでも耐震化が進むように、自分にできることを地道にやって行こうと思います。

先輩職員紹介



水野 貴史 主任技師

公共建築課

- ・平成28年10月 入庁
東濃建築事務所
[民間企業等職務経験者選考]
- ・平成30年11月 公共建築課(現所属)

■現在の仕事は？

今年は、主に高校の改修(屋上防水、外壁、トイレ等)を担当しています。いわゆる発注者である教育委員会と事業者との間を取り持って、希望通りのものになるように、図面を確認したり工事の進捗管理をすることが仕事です。

現場に出て、目の前で建物ができていく様子が見られるのは喜びです。形に残る仕事をしていると実感します。

■県で働くようになって、気づいたことはありますか？

前職では自分の感覚で仕事を進められましたが、県では段階を踏んで、多くの人々のチェックをいただいて仕事を進める必要があります。最初はじれったく思うこともありましたが、今はその方がいいと思うようになりました。

自分は現場監督の経験があり、施工管理等の資格もありますが、実は知識が十分でないことにも気づきました。曖昧な知識で仕事をするのではなく、改めて法規を開くと気づくことが多くあります。大変勉強になっています。



鷺田 紗世 主任技師

中濃建築事務所

- ・平成30年10月 入庁
中濃建築事務所(現所属)
(育児部分休業を利用中)
[民間企業等職務経験者選考]

■転職した動機は？

夫の仕事の都合で、他県から岐阜県に引越したためです。育児をしながら働ける制度があるので選びました。

■現在の仕事や育児の状況は？

部分休業制度を活用して、正規の終業時間よりも1時間早く退庁しています。勤務地と住まい、保育園がいずれも近い場所にあるので大変助かっています。

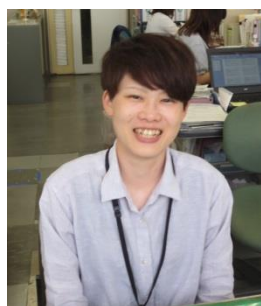
民間企業と県には、それぞれの良さがあると思います。県の仕事は、多様な相談に対応するため幅広い知識が必要です。知らないことばかりで大変ですが、今までできなかった経験ができるので魅力を感じています。

出産後、契約社員として働いていた頃と比べると、現在は、他の職員同様に担当地区を任されているので、仕事は大変です。でも、サポートしていただきながら頑張っています。今は仕事と育児で毎日が戦いですが、学んだことは必ず役に立つと思うので頑張りたいです。



いま 昨年インタビューを受けた先輩の現在

「建築職の仕事紹介2018」で紹介した先輩のその後はどうなったか、ちょっと聞いてみました。
※岐阜県建築指導課のHPで昨年度のインタビュー内容も併せてご覧ください。



村瀬 美紀 技師
住宅課

■昨年は異動したばかりでしたが、今はどうですか？

現在、公営住宅の改修などの補助金事務を担当していますが、以前の所属と全く違う仕事なので、最初のうちは覚えることが多く大変でした。でも、今は時間管理ができるようになりました。

私の場合、新しいことを覚えることは、大変という気持ちよりも、世界が広がる喜びの方が大きいみたいです。県では2～3年周期で異動があり、その都度、新しい仕事ができるところが、自分の性に合っていると感じます。

【異動歴】平成28年4月 入庁 岐阜・西濃建築事務所
平成30年7月 住宅課(現所属)



島田 卓弥 主任技師
ぎふ建築担い手
育成支援センター

■建築業担い手育成事業のスタート2年目の感想は？

昨年は、子ども対象の現場見学会や建築業に従事している人のための研修等を開催しました。今年は、少人数でも同じ仕事ができるように、新たに生産性向上に向けた研修なども実施する予定です。

担い手の確保・育成や生産性の向上は、すぐに成果が上がる仕事ではないことを実感しています。でも、参加者の反応が良いので、手ごたえも感じています。

【異動歴】平成22年4月 入庁 飛騨建築事務所
平成24年4月 公共建築住宅課
平成28年4月 建築指導課
平成30年4月 ぎふ建築担い手育成支援センター
(公共建築課内・現所属)



大西 俊輔 技師
岐阜・西濃建築事務所

■県庁舎建設課から異動した感想は？

県庁舎建設工事は途中異動でしたが、担当業務の区切りがついたところだったのでよかったと思います。

建築事務所は、県民との距離が近く、はっきりなしに相談が入ります。まだ法律の知識が浅いので、難しい相談に対応するのは大変ですが、自分が関わることによって建物ができていくのを見るのはうれしいです。人の役に立っているなあという実感があります。

【異動歴】平成28年4月 入庁 管財課県庁舎建設室
平成29年4月 県庁舎建設課(組織改正)
平成31年2月 岐阜・西濃建築事務所(現所属)



六郷 美佳 主任技師
建築指導課

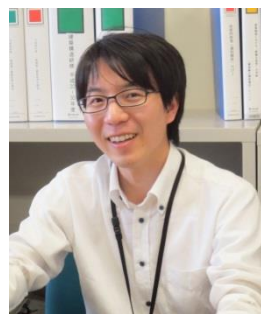
■民間企業経験者として、仕事について思うことは？

入庁2年目になり、気持ちにゆとりができてきました。周囲の理解があり通院のための休暇も取得しやすいので、体調も安定し普通に働けることがありがたいです。

仕事では、情報公開や個人情報取り扱いの際などは、公務員として県民の視線を意識する大変さも感じます。

また、今年は担当する建築士法が改正されるので、それに合わせて条例改正を行わなければなりません。滅多にないことなので、貴重な経験になると思います。

【異動歴】平成29年10月 入庁 建築指導課(現所属)
[民間企業等職務経験者選考]



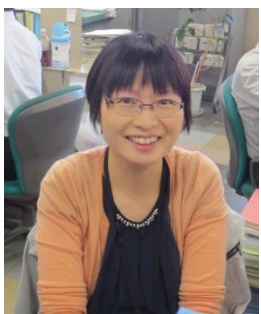
黒田 遼 技師
建築指導課

■一級建築士試験の勉強はどのようにしていましたか？

昨年、一級建築士の資格を取得しました。

自分は自宅では勉強できないので、県の支援制度を利用して専門学校に通いました。特に製図は、課題をしっかりとやらないと身に着かないので、土日はもちろん仕事帰りも学校へ行きましたし、仕事の都合をつけて休暇を取って勉強する日もありました。合格するためには、きちんと時間を確保することが大事だと思います。

【異動歴】平成27年4月 入庁 公共建築住宅課
平成29年4月 岐阜・西濃建築事務所
平成31年4月 建築指導課(現所属)



丹羽 智子 主任技師
公共建築課

■育休から復職して1年経過した感想は？

復帰後は、早出勤務と育児部分休業を併用しています。子どもの急病のため、看護休暇を取得することもあります。限られた時間内で業務をすることは大変ですが、係の皆さんに支えていただき、今は仕事と生活のリズムができてきました。今後も、必要に応じて制度を活用しながら仕事を続けていきたいと思っています。

【異動歴】平成20年4月 入庁 西濃建築事務所
平成23年4月 公共建築住宅課
平成26年4月 東濃建築事務所
(在籍中に約1年半の産休・育休取得)
平成30年4月 公共建築課(現所属)

建築職のインターンシップ

将来、岐阜県職員の建築職として働いてみたい学生の方を対象にインターンシップを実施しています。

[受入対象者]

- ・大学等に在学中の学生の方
- ・高卒者を対象とした資格専門学校等に在学中の学生の方

[受入業務内容]

県庁の都市建築部内及び建築事務所等において、事務等の補助業務を行います。
(実習生の希望を勘案し、受入部署により業務内容を決定します)

[申込方法]

- ① 岐阜県インターンシップ推進協議会への申込み
 - ・時期： 実習生の夏休み期間(例年7月下旬～8月末頃) ※6月頃に募集
 - ・期間： 1週間(土日祝日を除く5日間)
- ② 岐阜県都市建築部建築指導課への申込み
 - ・実施時期、期間等について、大学等と調整の上、実施します。
 - ※平成30年度実施の例
 - 時期・期間： 8月6日(月)～24日(金)
 - 受入所属： 建築指導課、公共建築課、住宅課、都市政策課、岐阜・西濃建築事務所、県庁舎建設課



県庁舎の再整備

現在の岐阜県庁舎は1966年（昭和41年）に竣工され、すでに半世紀が経過しています。

現在、県庁機能を2022年度に新庁舎へ移転することを目指して、県庁舎の再整備を進めています。



[本体工事スケジュール]
・2019年～ 本体工事
・2022年～ 移転